

事業名称	「和太鼓体験企画」第1回 集まれ！音ともだち 「ありがとう！歌のこころ！和のこころ！」
団体名	ほのぼのさん
協働の相手方	文化国際課

目的	未来を担う子供達に、音楽で達成する喜び、目標に向かって作り上げる達成感を感じてもらいたい。和太鼓という日本の伝統文化に触れながら、一つのものを作り上げる忍耐力、協調性を感じ、多学年の交流の中で、小さい子供達と大きい子供達が仲良くなっていく一体感、充実感を知る。本物のステージが姫路市民の芸術の底上げとさらなる心の元気になると考える。
内容	公募で集まった子供たちと4回の音響講座で舞台の勉強をした後、5ヶ月間、歌とダンスのレッスンに励んだ成果を3月に発表する。伴奏は、市民の有志によるの大人たちの生バンド
事業経過	8月 募集チラシ配布 10月中旬 オーディション開催 11月～2月に4回の和太鼓体験。 10月末～3月 歌とダンスのレッスン 3月 CD録音、動画撮影 3月10日 姫路駅前広場にて、成果発表
事業の効果	日本の伝統文化である和太鼓を、4日間体験、練習をした上で、3月の自分たちの成果発表のステージに上がった。本番は、司会者を決め、自分たちの役割をしっかりと出来たと思う。子供達が目的に向かって、音楽を楽しみ、追求する姿は、現在の 子供達に必要な不可欠な自主的な心を育、さらに大人が音楽で子供達をサポートする。このことは、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの目指す「地域の文化力の向上、交流機会の創出、次世代を担う子供達の育成」となった。また、大人が音楽でサポートすることにより、多世代交流にもなっている。
今後の展望	音楽をツールとして多世代交流を引き続き測る。今回集まった子供たちに、引き続き、歌やダンス、伝統文化である和太鼓が子供達の未来に音楽や文化の素晴らしさを大人が伝えられる場を作る。さらに、芸術のコラボレーションを拡げ、多世代交流を深めたい。

## 【実施団体の事業総括・感想等】

<p>コロナが終わり、初めての制限のない成果発表となり、今回の企画の和太鼓体験、歌とダンスが思いつき発表できたことは非常に嬉しいことである。子供達が、日本の伝統文化和太鼓に触れること、歌やダンスで友達と作り上げたステージは、音楽大好きな子供達を育てる大きな成果だと考えています。今後も、音楽、ステージ、それに携わる全てのものに感謝を持ちつつ、本物のステージを子供達に伝えていき、今後も芸術が多世代交流の核になる事業を目指していきたいと考えています。</p>
--

## 【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

<p>今回の事業テーマである和太鼓を中心に、歌やダンスに子供たちが触れる機会を創出し、子供たち同士の交流の中でステージを作り上げた今回の事業については、音楽文化の振興や次代を担う子どもたちの育成という、当課が推進する「音楽のまち・ひめじ」事業の大きな要素を取り入れたものであり、一定の成果は得られたと考えている。</p> <p>当日は、非常に寒い日であったが、会場となった姫路駅北にぎわい交流広場では、保護者だけでなく、通行人が多く足を止めて観覧しており、天候を考慮すれば十分な盛り上がりであったと考えられる。多数の観客を前に発表ができたことは、子供たちにとっても非常に有益な経験となったと見受けられた。</p> <p>実施団体の「今後の展望」にも記述があるとおり、この事業をもって終わりではなく、事業に参加した子供たちの交流が継続していくことを期待したい。</p>
---